

平成28年度事業報告

I 総括

○ 平成28年度は、10月21日に震度6弱の鳥取県中部地震が発災したことにより、観光分野においても県内全域にわたって風評被害が生じ、これに対し連盟として多様な取組を実施した。

- ・会員の皆様の御協力を得ながら「鳥取県は元気です！」ホームページをいち早く開設し、連盟から県外に情報発信した。

- ・また、「とっとりで待っています!!」をキーワードに、チラシ、ポスターを作成・配布するとともに、旅行会社関係者を県内に招き、震災後の観光客受入に問題ないことの認識を深めていただいた。

- ・県外からのバスツアーに対する助成を行い、県外のバス会社や旅行会社等から多数の反響があった。

○ また、2月には、33年ぶりの記録的な大雪となり、大量のキャンセルが発生したため、これらへの対策を講じるとともに、春に向けた誘客活動の促進を行った。

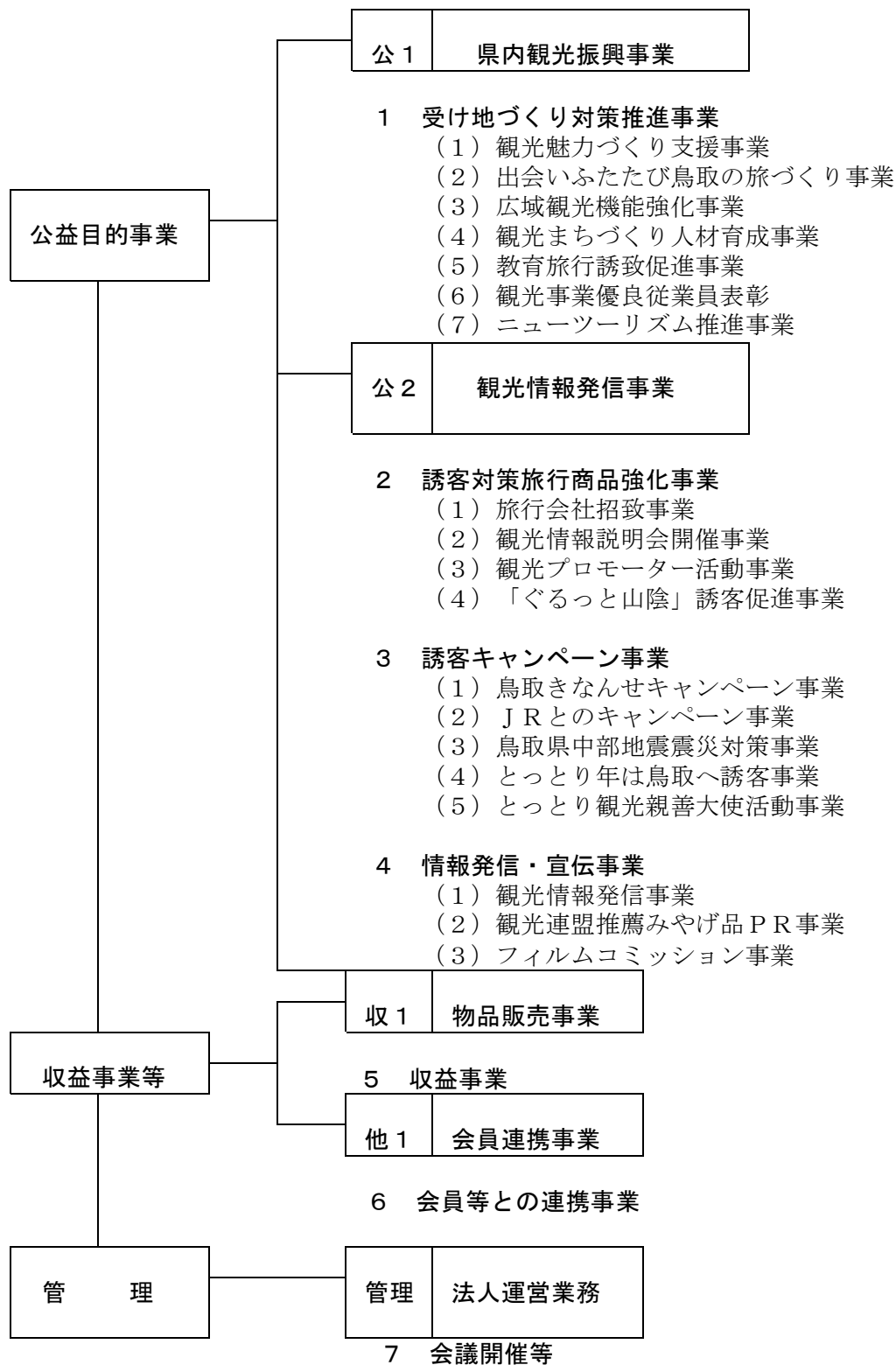
- ・「とっとり年の春は鳥取へ」をキーワードに、県外でのPRイベントやメディアキャラバンなどの誘客キャンペーンを実施した。

○ 上述のとおり、平成28年度は自然災害による観光への影響が著しい年であったが、連盟においては、災害対策事業に重点を置きつつ、連盟の事業全般に取り組んだところである。

○ なお、公益法人である連盟の管理運営（ガバナンス）について、平成28年度に、定款をはじめ就業規則、給与規程等、諸規程の改正、整備を行い、平成29年4月から施行、実施しているところである。

II 平成28年度の事業体系

平成28年度は、以下のとおり各種事業を実施した。



Ⅲ 各事業の実施報告

1 受け地づくり対策推進事業

() 内は最終予算額

(1) 観光魅力づくり支援事業 決算額 6,482,301円 (1,400千円)

会員からの商品企画に関する相談支援や情報収集を行うとともに、新素材や2次交通を含めた着地型旅行商品等を旅行会社へ提案し、販促活動を行った。また、県外イベント等で鳥取県PR活動や旅行相談を実施し、誘客活動や情報発信を行った。

① 観光プロモーターによる活動支援

- ・連盟が旅行会社から派遣を受けた観光プロモーターが、会員の商品企画への支援や勉強会などへオブザーバー等として活動した。
- ・また、中部地震への風評被害対策をはじめとして、県や旅行会社との折衝や各圏域に配置された観光プロモーターへの支援を行うとともに、中四国・九州方面のプロモーション活動を行った。

② 「開運八社巡り」の実施

- ・「福」や「富」など縁起の良い漢字を用いた神社を参拝する「開運八社巡り」を引き続き実施するとともに、その年の干支にちなんだデザインの「開運手ぬぐい」や「招福良宮巡り福紗」も引き続き販売。観光客が県内の開運神社を自由に参詣できるアイテムとして活用を図った。
- ・また、平成28年5月と6月の2回に分けて岡山発の「開運八社巡りバスツアー」が催行。8月には四国発の「因幡伯耆國開運八社日帰りツアー」も催行された。
- ・11月には受験者向けに、震災でも落ちなかった梨「合格まちがい梨」と、開運手ぬぐいをセットで販売。関東地域で300枚販売された。
- ・申年開運手ぬぐい：3,530枚販売 (平成27年12月～平成28年12月)
招福良宮巡り福紗：423枚販売 (平成27年4月～平成28年3月)

(2) 出会い ふたたび 鳥取の旅づくり 事業 決算額 11,289,718円

(14,272千円)

近年、個人・グループ旅行者が観光客の多数を占めていることから、複数年にわたる誘致関連事業を展開。「魅力的な観光素材の磨き上げ」「旬の情報を適時・的確に届ける」「お客様の声が提供側に伝わる」など、顧客視点に立って鳥取の旅の提案に努めた。

① 連盟会員向けページの開設

連盟ホームページ内に開設した会員向けページにより、会員宛にメールで各種の情報提供を行った。

②会員向け相談会の開催

観光プロモーターや連盟職員による会員向け相談会を開催した。

目的：会員と観光プロモーターらとの相談等を行う機会を設けることにより、会員の有する誘客・受入の企画・商品に対して助言等を行い、品質の向上などを促し、商品化や利用促進に繋げる。また、この機会を活用し、会員との関係強化と情報交換の活発化を図る。各プロモーターにおいては、内容を熟知し、各活動領域でのプロモーションに活用する。

実施期間：平成28年5月～平成28年12月 3回開催

内容：各施設の企画内容や販促内容の相談。地域イベントの紹介や誘客策の相談、意見交換など

参加者：県内市町村観光担当課、県内宿泊・食事・入場・立寄り施設など

③新聞による情報提供

新聞の企画掲載枠（読売新聞大阪夕刊、中日新聞夕刊、サンケイスポーツ）を利用して、広く消費者に鳥取県情報の提供、旅行喚起を実施した。

④とっとりの旅づくり事業

- ・平成27年度に引き続き、県内3地域（日野郡3町、琴浦町、八頭町・若桜町）において、専門講師等の助言や提案を受け、関係団体と連携し、魅力ある観光地づくり、観光商品の造成や既存資源の磨き上げに取り組んだ。
- ・新たな地域（吉岡温泉）においては、温泉地の賑わいの創出や観光客誘致の支援に向け、関係団体や関係者と専門講師を交えた意見交換や地域資源の点検を行うとともに、同エリアの資源に対するマーケティング調査を実施した。

ア 日野郡3町

- ・『日野郡のタカラ「たたら」』をコンセプトに、日野郡共通のランチ「日野郡3町三色たたらんち」を開発し、ランチメニューの磨き上げ、プレス向けお披露目会等の情報発信、テスト販売等を実施。正式販売が決定し、ランチと観光周遊と組み合わせたスタンプラリーを実施中。
- ・また、「ヒメボタル」や「古民家の宿泊」等の地域資源を活用したツアープランを開発し、情報発信を行っているところである。
《専門講師等とのミーティング》 20回

イ 琴浦町

- ・「グルメのまち・琴浦」を印象づける「琴浦アゲアゲ串」を開発し、串の磨き上げ、プレス向けお披露目会等の情報発信、テスト販売等を実施。正式販売が決定し、食のバリエーションの充実と話題づくりを創出した。

- ・「グルメのまち」をPRするため、「食」を切り口とした観光案内用の資料作成の磨き上げを行った。

《専門講師等とのミーティング》 11回

ウ 八頭町・若桜町

- ・「癒し」を得ることを「ほっこり補給」と表現したコンセプトで、「ほっこり補給スープ」を開発し、スープの磨き上げ、情報発信、テスト販売等を実施。地域資源を絡めた観光周遊の仕組みづくりを検討している。

《専門講師等とのミーティング》 15回

⑤ 着地型観光・体験情報発信事業

- ・日本最大級のレジャー・体験予約サイトを活用し、季節に応じた観光情報と体験プログラム等県内の魅力を伝える「鳥取県ブランドページ」をそのサイト内に設置し、体験予約数の増加やそのページの閲覧の増加を図り、県内への誘客促進を図った。
- ・ページ分析（年2回）や戦略会議（年3回）の結果をうけ、鳥取県に興味を持ち、実際の検索作業に移った件数は昨年度より増加し、より多くの消費者の目に触れることとなった。体験プランの購買、申込組数、申込人数も昨年度より増加しており、波及効果も含めて、地域での消費額増につながったことが伺える。

《参考》

- ・ブランドページ総ページビュー；約5,200万件（昨年対比約1.3倍）
- ・体験プログラム申込組数；3,471件（昨年対比約1.5倍）、人数；10,748名（昨年対比約1.8倍）
- ・また、主に体験プログラムを提供する事業者を対象にした研修会を開催し、体験事業者のレベルアップを図った。（詳細は（4）「観光まちづくり人材育成事業」に掲載）

⑥ 中国自動車道加西SA（下り線）観光情報発信拠点化

目的： 関西方面から本県及び山陰方面を目的地とした自家用車、バスツアー利用者の立寄りが多い中国自動車道加西SA（下り線）で本県の観光情報発信を実施し、鳥取県への誘客を図る。

実施内容： 西日本高速道路株式会社と鳥取県との包括的相互協力協定により、加西SA（下り線）店舗前広場を観光PRイベント会場として活用。県、市町村、観光協会を含む会員とともに観光パンフレットの配布、PRブースでの観光案内、アンケート調査、地域キャラクターとの記念撮影等により、本県の観光情報を発信し、誘客を図った。平成28年度は計6回実施（別事業での実施2回を含む）。

また、インフォメーションコーナーのリーフレットスタンドに、年間を通

して4種類のパンフレットを配架し、本県を目的地とする利用者への適宜情報提供を図り、県内誘客と周遊の拡大を図った。

⑦鳥取県観光誘客キャンペーン（観光パスポート作成）実施事業

- ・春夏、秋冬の2期で観光パスポート「トリパス」を発行し、誘客キャンペーンをPRするツールとして、旬の観光情報や、優待特典情報、スタンプラリー等の企画を掲載し、県内への誘客及び県内での宿泊、観光周遊、再来訪の促進を図った。
- ・トリパスは、広報・広告媒体（新聞、フリーペーパー等）や旅行会社のパンフレット等に掲載され、鳥取県の魅力を効果的に発信できるツールとして有効活用された。

ア とっとり春旅・夏旅キャンペーン

- ・期 間：平成28年4月16日（土）～9月30日（金）
 - ・宣伝物：トリパス（A6・36頁）8万部、チラシ4万部、各種POP（ポスター等）
 - ・優待特典協力施設数：146施設
- 《スタンプラリー応募状況》
- ・ひんやりデザートスタンプラリー 応募数 353通（春：158、夏；195）

イ とっとり秋旅・冬旅キャンペーン

- ・期 間：平成28年10月1日（土）～平成29年3月31日（金）
 - ・宣伝物：トリパス（A6・40頁）2万部、チラシ1万部、各種POP（ポスター等）
※増刷2万部（鳥取県中部地震の風評被害対策事業）
 - ・優待特典協力施設：178施設
- 《スタンプラリー応募状況》
- ・とっとり秋旅・冬旅周遊スタンプラリー応募数：1,273通（秋：498冬；775）

⑧ホームページ、SNS等情報発信事業

- ・鳥取県観光連盟ホームページ内で、時期に合わせた旬のテーマや交通、キャンペーン等の特集を継続的に掲載した。
- ・フェイスブックとツイッターで、旬の観光情報を継続的に発信した。

（3）広域観光機能強化事業	決算額 801,176円（400千円）
----------------------	----------------------------

①「鳥取・岡山広域観光協議会」による広域連携推進事業

〈主な事業〉

- ・両県共同アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」での観光PR
（平成28年9月15日～17日、平成29年1月9日）
- ・中国自動車道加西SA（下り）での観光PR
（平成28年7月30日）
- ・鳥取・岡山ドライブマップの増刷・改訂（6万部）

- ・両県ポータルサイトでの両県ドライブマップ推奨モデルコースの発信
- ・各種メディア広告による「大山・蒜山」エリアの観光PR
 - ・日帰りドライブぴあ関西版、おとなの日帰り旅関西版（平成28年3月発売）
 - ・FM大阪でのラジオ広告（20秒CM70本：平成29年3月6日～31日）

② 「とっとり観光ニュース」発行（毎月）による観光情報信事業

約1,700カ所へ配信。また各プロモーターもメール等により1,500カ所へ配信。

(4) 観光まちづくり人材育成事業	決算額 622,650円(2,000千円)
-------------------	-----------------------

① 連盟主催の人材育成事業（研修会の実施）

ア 体験型観光研修会

- ・テーマ：体験型観光研修会
- ・開催期日：平成28年11月16日（水）
- ・開催場所：エキパル倉吉多目的ホール（倉吉市上井）
- ・講師：アソビュー(株)ビジネスソリューション部企画 Gr. 内田 有映氏
- ・受講者：体験事業者、市町村、観光協会、宿泊施設、観光施設等 51名
- ・概要：旅行・体験市場の市況情報提供、商品の販売方法、WEB・SNSを活用した情報発信の方法、県内の販売実績紹介、個別事例の紹介等

イ 観光まちづくり人材育成研修（(公社)日本観光振興協会中国支部助成事業）

- ・テーマ：「聖地巡礼」による地域の観光振興の可能性
- ・開催期日：鳥取：平成29年1月26日（木）
- ・開催場所：エキパル倉吉（多目的ホール）
- ・講師：九州産業大学商学部教授、コンテンツツーリズム学会理事
岩崎 達也 氏
- ・受講者：43名
- ・概要：アニメや映画の舞台となった地域を訪れる、いわゆる「聖地巡礼」が観光の分野でも一般化しつつある。このようなコンテンツツーリズムの事例を紹介しながら、観光による地域振興の方策について考察した。

② 会員が実施する人材育成研修に対する連盟の助成

〈観光人材育成支援事業の実績〉

（支援団体）1団体（第2種会員）：湯梨浜町観光協会

（事業名）「湯梨浜町観光ガイド養成講座」

(5) 教育旅行誘致促進事業	決算額 5,438,843円(10,102千円)
----------------	--------------------------

体験型教育旅行を鳥取県内に誘致促進するため、今後の受入関係機関、事業所相互の連絡

協調、受け入れ態勢の充実、効果的な誘致活動の活性化を図るとともに、関係行政機関との密接な連携強化を目的に、テーマ・部会ごとの研究会を行った。

また、メインマーケットである関西に配置した「教育旅行コーディネーター」により、学校関係者、旅行会社、教育旅行研究機関との情報収集や提供等を行うとともに、鳥取県内の受け入れ機関との意見調整や教育旅行関係者との現地研修を行い、民家体験をはじめとした県内教育旅行関係施設の開発と磨き上げ支援を行った。

①「鳥取県教育旅行誘致促進協議会」活動

ア 鳥取県教育旅行誘致促進協議会総会

- ・開催日時：7月1日（金）13:30～14:50
- ・場 所：エキパル倉吉 多目的ホール
- ・参加者：鳥取県 2名、市町村 5名 地元関係者 27名
- ・開催内容：平成28年度活動報告・決算報告、平成29年度活動計画・予算計画、役員変更、教育旅行説明会・教育旅行キャラバン計画、会員による取組事例報告、顧問による近年教育旅行動向報告など

イ 鳥取県教育旅行誘致促進協議会 合同部会

- ・開催日時：11月21日（月） 10:00 ～ 15:30
11月22日（火） 13:30 ～ 15:30
- ・場 所：鳥取県中部総合事務所
- ・参加者：協議会員21名（体験学習部会7名、誘致部会8名、民泊部会7名）
事務局 6名 合計27名
- ・開催内容：〈体験学習部会〉
 - ・旅行会社との予約、精算の方法について
 - ・体験メニューの拡充について〈誘致部会〉
 - ・平成28年度の誘致活動（キャラバン、説明会）の反省
 - ・平成29年度の誘致活動（キャラバン、説明会）について〈民泊部会〉
 - ・平成30年度の民泊受入態勢について
 - ・民泊受入家庭の拡大について
 - ・民泊家庭のマニュアル策定について

② 県内の関係団体と勉強会への参加

北栄町グリーンツーリズム研究会「体験型教育旅行について学ぶ講演会」

- ・開催日 平成29年2月28日（火）
- ・参加者 北栄町グリーンツーリズム研究会
- ・議題 教育旅行の現状、民泊への取組などについて
連盟の教育旅行誘致コーディネーターが講演

③ 県外先進事例視察研修の実施〔第一次産業観光利活用推進協議会の先進地視察に参加〕

- ・開催日 平成29年3月6日（月）～7日（火）
- ・参加人員 第一次産業観光利活用推進協議会： 9名
- ・訪問先 （一社）南信州交流公社（長野県飯田市）
- ・研修日程

1日目 南信州交流公社の沿革、受入実績の説明を受け、実際の教育旅行民泊と同様に、参加者が3～4人毎に分かれ、それぞれの受入家庭に移動し、意見交換、宿泊を行った。

2日目 南紀州交流公社が実施している体験プログラムの「五平餅」作りを体験。
(所感) 既に数多くの受け入れ実績があるうえ、「補助金なし」を掲げ出資金を募り、また、JA並びに市町村職員が民泊受入家庭拡大にむけて営業活動を行っていることが参考となった。

④ 体験型教育旅行の誘致活動

ア 学校、修学旅行協会関係者（旅行会社社員を含む）を対象とした下見・現地研修会。

順	旅行会社・支店名	実施日	人数	担当者	視察先（主なところ）
1	東武トップツアー関西教育	7/13-14	6	磯江	大山・北栄・倉吉・砂丘・佐治

イ 関西圏における教育旅行情報説明会

- 開催日：平成28年8月24日（水）
- 参加者：学校関係者、旅行会社、教育旅行関係団体、地元関係者等 52名
- 実施内容：誘致促進協議会概要説明、体験施設等のプレゼンテーション、商談会

⑤ 情報発信機能の強化

学校関係者並びに旅行会社を対象に提供する教育旅行ガイドブック（30ページ）3千部を増刷し、引き続き関西・中京中心に多くの学校関係者・旅行会社に提供する。

ア「とっとりスタイルエコツーリズム」教育旅行誘致促進事業

- ・事業趣旨：本県で宿泊を伴う教育旅行を行う学校を対象とした宿泊費助成。
- ・支援内容：宿泊延べ人数×1,000円を補助（1団体上限30万円）
- ・支援実績：対象学校数及び対象人数・17校、延3,647名

《参考》近年の県内への修学旅行催行実績及び予定

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
1校	5校	6校	9校	10校	5校

イ 熊本地震の影響

関東より1校、関西より2校が来鳥。関東の1校については、鳥取を評価され、従来行っていた熊本から当年度についても、山陰への方面変更につながった。

ウ 景気低迷等による影響

「旅行代金の抑制」の中で、大阪府南部を中心に修学旅行方面の見直しが図られ、コーディネーターをはじめ関係者の誘致プロモーション等により、平成30年度に7校約1,500名の鳥取への修学旅行が決定している。

今後、民泊や体験メニューの作成など、受け入れ先の量・バリエーション・質ともに充実化と平準化を進めるべく、「鳥取県教育旅行誘致促進協議会」を中心に、引き続き専任の教育旅行誘致コーディネーター等を通じて、部会や勉強会などを開催し、安全管理や品質などの向上への取り組み強化を図るとともに、誘致活動の一層の活性化と受入体制の整備、充実を図った。

(6) 観光事業優良従業員表彰 決算額 27,120円(100千円)

観光事業優良従業員の業績を評価し、6月4日の通常総会において表彰を行った。

表彰者数： 優良従業員 8名

(7) ニューツーリズム推進事業 決算額 376,452円(3,279千円)

とっとり因幡グリーンツーリズム推進協議会から事務局運営を受託。職員1名を配置し、グリーンツーリズム推進のほか、教育旅行の受け地づくりの観点から、鳥取県教育旅行促進協議会との合同研修等を行うことで、連盟会員と協議会会員との交流や情報交換を活性化した。

2 誘客対策旅行商品強化事業

(1) 旅行会社招致事業 決算額 1,074,213円(2,500千円)

観光プロモーターを中心に、首都圏、中京圏、関西圏、中四国・九州圏を対象に県外旅行会社の旅行商品造成担当者や販売担当者の現地研修を実施した。(教育旅行分含む)

[現地研修の状況]

順	旅行会社・支店名	実施日	人数	担当者	視察先(主なところ)
1	JTB国内旅行企画本社	4/15-16	2	大竹	境港・皆生・倉吉・砂丘

2	KNT中部メイト 北陸駐在	4/15-16	2	大竹	三朝・倉吉・北栄・砂丘
3	KNT中部営本・名鉄観光バス	5/7-8	2	大竹	三朝・倉吉・若桜・砂丘
4	東武トップツアー関西教育	7/13-14	6	磯江	大山・北栄・倉吉・砂丘・佐治
5	JTB首都圏	10/12-14	6	田中	境港・皆生・大山・倉吉・砂丘
6	JTBメディアアソシエーツ首都圏	11/8-9	1	田中	境港・皆生・大山・北栄・倉吉・砂丘
7	関西・中国・四国旅行会社	12/21	78	木村他	三朝・倉吉
8	JTB西日本・関西・中国四国①	1/16-17	17	木村	砂丘・三朝・北栄・湯梨浜
9	JTB西日本・関西・中国四国②	1/18-19	13	木村	境港・皆生・大山・倉吉・砂丘
10	ビッグホリデー	2/2-3	1	田中	八頭・智頭・砂丘

※ 関西・中四国圏合同には、昨年12月21日実施「とっとりで待っています」研修会108名の参加実績を含む

(2) 観光情報説明会開催事業 決算額 1,909,638円(2,500千円)

首都圏、中京圏、関西圏、中四国圏を対象に、旅行商品の造成に有効な情報を伝えるための説明会を実施した。関西圏・広島地区においては、春季及び秋季説明会と2回。

名古屋でも、昨年に引き続き秋季説明会を実施し、鳥取からの情報発信を行うとともに、地元関係者が積極的に参加できる「商談会」を実施し、旅行会社との接点を増やした。これにより、商品化や利用を創出できる機会を提供し、関係者からも実績が上がっているという評価を得ている。

[観光情報説明会開催状況]

順	タイトル	開催日	AGT社数	AGT人員	鳥取関係者人員	備考
1	春季鳥取県観光情報説明会 関西	5/10	23	55	33	
2	春季首都圏誘致協意見交換会・説明会	5/17	10	17	13	誘致協共催
3	春季鳥取県観光情報説明会 広島	5/19	16	28	30	
4	秋季鳥取県観光情報説明会 名古屋	9/5	20	35	29	
5	秋季鳥取県観光情報説明会 関西	9/13	21	45	30	
6	秋季鳥取県観光情報説明会 広島	9/27	14	26	24	
7	秋季首都圏誘致協意見交換会・説明会	10/5	10	17	17	誘致協共催

(3) 観光プロモーター活動事業 決算額 8,950,632円(8,000千円)

関東圏、中京圏、関西圏、中四国・九州圏を担当する4名の観光プロモーターが、旅行会社の企画造成箇所、店頭販売箇所を日常的にセールスで訪問し、本県の基本的な観光情報、新たな旬の情報を提供、旅行商品造成と販売促進のプロモーション活動を積極的に展開した。

今季は、昨年の中部地震の風評払拭のため、旅行会社へのプロモーションを強化した。各圏域の動向を県内に的確に提供し、旅行ニーズに則した魅力ある観光地づくりに役立てる

とともに、会員からの要請に応じ同行セールスとしても積極的に対応した。

観光プロモーターの持っている旅行業界における多年の経験や広い人脈などが、連盟会員の日々の観光振興活動にしっかり活かされるよう、引き続き県内各観光地との密接な協力関係を築くことに努めた。（活動詳細は後出）

(4) ぐるっと山陰誘客促進事業 決算額 77,753,894円(80,500千円)

県外からの誘客促進と観光素材集掲載箇所への立ち寄りを促すため、宿泊旅行商品を造成する旅行会社に対して、経費の一部支援を行った。

事業区分は次のとおりである。

- ① 「きなんせとっとり商品造成支援事業」
- ② 「きなんせとっとりツアー誘致事業」
- ③ 「鳥取県中部地震風評対策誘客促進事業（バス支援）」

このうち、平成28年度は、特に③中部地震風評対策誘客促進事業（バス支援）に重点を置いて実施した。

事業名	① 商品造成支援事業	② バスツアー誘致事業
補助の条件	◇鳥取県素材の露出・情報ページの掲出に関わるパンフレット作成 ◇販促目的の現地研修、店頭販促費等	◇県外出発、県内宿泊のバスツアー ◇連盟作成の素材集より1箇所以上採択 ◇1団体20名以上
補助期間	◇平成28年1月～平成29年2月 平成27年4月～平成28年3月出発対象	◇平成28年4月1日～ 平成28年3月31日出発対象
補助内容	◇1事業所当たり500千円を上限	◇バス1台当たり30千円 ◇1事業所当たり150千円上限
事業費	10,000千円	20,000千円
予算執行状況	9,583千円	11,910千円
実施状況	43件	報告件数：227件、 バス台数：397台、 利用実績：13,241人
その他	◇浦富海岸ジオウォーク あるく！国宝投入堂と伯耆大山 ワールドウォーキングフェスタ大山滝・船上山	※中部地震対策事業に変わったため、 11月7日受付分で事業終了。

事業名	③ 鳥取県中部地震風評対策誘客促進事業（バス支援）	
区分	宿泊	日帰り

補助の条件	◇1団体20名以上で催行の県外出発のバスツアー ◇連盟作成の素材集より観光・立寄り2箇所以上、食事1か所以上の採択 ◇県内宿泊（日帰りを除く）	
補助期間	◇申請 平成28年11月7日～平成29年2月28日申請 ◇催行 平成28年11月8日出発～平成29年3月31日帰着	
補助内容	◇バス1台当たり60千円 ◇1事業所当たり1,200千円上限	◇バス1台当たり30千円 ◇1事業所当たり600千円上限
事業費	35,280千円	14,460千円
実施状況	報告件数：274件 バス台数：588台 利用実績：19,263人 催行率：48.2%	報告件数：195件 バス台数：482台 利用実績：17,596人 催行率：53.8%

3 誘客キャンペーン事業

(1) 鳥取きなんせキャンペーン事業 決算額11,295,408円(30,800千円)

蟹取県ウェルカニキャンペーンを受託実施するとともに、連泊特典企画、大型ショッピングセンター等での観光資料・ノベルティの配付、観光大使やゆるキャラによるPRなど、主に個人客を対象とした誘客活動を行った。

① 蟹取県ウェルカニキャンペーン

- ・実施目的：県内宿泊施設に宿泊された方に「鳥取のカニ」をプレゼントする「蟹取県ウェルカニキャンペーン」を実施することで、秋季・冬季の観光誘客につなげる。
- ・実施期間：平成28年9月1日～平成29年2月28日
- ・実施内容

ア キャンペーン応募ハガキの整理及びアンケート集約業務

- ・最終の応募総数：21,307件（昨年最終応募総数：18,018件）

イ 当選者の決定、発送業務

- ・キャンペーンの応募はがきから、毎月100名の当選者を決定し、発送。

ウ キャンペーンの情報発信業務等

県民への同キャンペーンの周知や県内の水産、宿泊、その他観光やカニに関する関係者のキャンペーンへの機運醸成のため、次の広告出稿やPR活動を実施した。

- ・新日本海新聞社が発行する観光フリーペーパーへの広告掲載

発行日：9月16日（金）

発行：中国道、山陽道のサービスエリア等に配架 4万部

- ・日本海新聞及び週刊大阪日日新聞で「鳥取のカニ」特集に広告出稿（2回）

- ・キャンペーン告知を掲載した鳥取県観光ガイドマップを作成し、各所で配布。
- ・大手旅行会社の店舗や大型ショッピングセンター、都市部のイベント等でPR。
- ・高速道路・加西サービスエリア、蒜山サービスエリアでPR。(8月、11月)

②「おいでよ鳥取キャンペーン」連泊特典企画(鳥取県観光客誘致促進協議会共同事業)

- ・実施目的：鳥取県内での連泊促進に向けて、県内宿泊された方に、鳥取県内産直店や道の駅で利用できる1000円分のクーポン券をプレゼント。
- ・実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日
- ・対象会社：JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、ANAセールス、平成ISなど
- ・内容：申込旅行会社から、対象者に1000円分のクーポンを提供
県内の農産物直販所や道の駅で、購入額から1000円分を減額
- ・実施結果：358件、358千円分の利用実績あり。
- ・その他：利用額の半分は、鳥取県観光客誘致促進協議会で負担

③ 県外旅行会社店頭キャンペーン事業

各圏域のショッピングセンターイベント広場や旅行会社店頭などで、パンフレット配布、ゆるキャラ撮影会や缶バッジ作成などの体験などのような鳥取県観光PRを実施し来鳥への誘客活動を行った。

【店頭キャンペーン】

順	タイトル(会場名等)	実施日	担当者	実施事項
1	日本旅行Tis大阪	6/18-19	平松	サンプリング、ゆるキャラ、アンケート
2	JTBイオンモール名古屋ドーム前	7/23-24	大竹	サンプリング、ゆるキャラ、ゲーム大会
3	JTB幕張副都心	10/8	田中	サンプリング、ゆるキャラ、ゲーム大会
4	日本旅行Tis大阪	10/9-10	平松	サンプリング、ゆるキャラ、アンケート
5	JTBなんば	11/13	平松	サンプリング、ゆるキャラ、アンケート
6	日本旅行Tis大阪	12/17-18	平松	サンプリング、ゆるキャラ、アンケート

④ 大型ショッピングセンター等でのキャンペーン

集客力の大きい都市近郊の大型ショッピングセンターやイベント会場などにおいて、着ぐるみとのジャンケン大会・記念撮影会、抽選会などを実施。観光パンフレット、ノベルティなどを配布し、鳥取県への誘客、PR活動を行うとともに一部ではアンケート調査も行った。

【ショッピングセンターにおけるキャンペーン】

順	タイトル（会場名等）	実施日	担当者	実施事項（主なもの）
1	名橋「日本橋」まつり（春）	4/5	田中	サンプリング、ゆるキャラ、アンケート
2	名古屋東山動物園（春）	5/3-5	大竹	サンプリング、ゆるキャラ、ゲーム大会
3	マツダスタジアム広島	5/18	木村	サンプリング、
4	第4回夏山フェスタ（名古屋）	6/11-12	大竹	県内の山岳案内、サンプリング
5	三井OP木更津	8/27-28	田中	サンプリング、ゆるキャラ、ゲーム大会
6	三越銀座店	9/3-4	田中	サンプリング、ゆるキャラ、ゲーム大会
7	第62回名古屋まつり	10/15-16	大竹	サンプリング、ゆるキャラ
8	日本橋・京橋まつり（秋）	10/23	田中	サンプリング、ゆるキャラ、アンケート
9	名古屋東山動物園（秋）	11/3	大竹	サンプリング、ゆるキャラ、ゲーム大会
10	刈谷ハイウェイオアシス（秋）	11/5-6	大竹	サンプリング、ゆるキャラ、アンケート
11	ダイキン工業淀川	12/13	平松	サンプリング、
12	JTB旅物語 伊勢湾クルーズ	3/5	大竹	サンプリング、ゆるキャラ

（2）JRとのキャンペーン事業 決算額 2,203,324円（2,000千円）

山陰観光連盟として、JR及び島根県と連携し、次の事業を実施した。

① 誘致ポスター掲出事業

（鳥取）ウェルカニキャンペーン、もちがせ流しびな

② 誘客促進事業

「山陰知遊旅（ちゆうたび）プレゼントキャンペーン」の展開

③ 情報発信事業

山陰の主な観光地を紹介したプロモーションムービー（外国語版）を掲載し、国内外に広く観光情報を発信

（3）鳥取県中部地震震災対策事業 決算額 14,211,343円（0千円）

- ・実施目的：10月21日に発災した鳥取県中部地震による風評被害を払拭するため、様々な取り組みを行うことにより、鳥取県への宿泊を伴う誘客を図る。
- ・実施期間：平成28年11月2日から平成29年3月31日まで
- ・実施内容

（1）県内周遊対策

① 「鳥取県は元気です！」ホームページの開設

- ・地震直後に、県内施設の臨時休業等を発信するホームページを開設。（10月21日）
- ・県内の観光施設被害は少なく観光客の受け入れが可能であることをアピールする

よう「鳥取県は元気です!」「鳥取県は通常営業しています!」を県内外に呼びかけるホームページを開設。(10月23日)

・県内の観光協会、旅館組合、観光施設などから多数、情報提供等、ご協力を頂いた。

②震災回復のための観光パスポート「トリパス」増刷と県内周遊促進キャンペーン実施

- ・観光パスポート「トリパス秋冬版」の増刷：2万部
- ・表紙に「とっとり元気です!」のロゴを追加。
- ・「とっとりで待っとなります!!キャンペーン/鳥取の肉と米を当てよう!」の実施
 - ・実施期間：平成28年12月3日(土)から平成29年2月12日(日)
 - ・トリパスのスタンプラリーの仕組み活用し実施。倉吉市等県内6ヶ所で応募。
 - ・賞品は、鳥取和牛ステーキセット、焼肉セット、鳥取県中部のお米
 - ・応募券付きチラシの印刷(3万部)、配布
 - ・応募総数：1,345通

③春の本格的な旅行シーズンに向けた「トリパス」の作成

- ・平成29年度観光パスポート「トリパス」春夏版と関連ツールを作成した
 - ・トリパス：8万部 / PR用ポスター・チラシ、優待施設用POP
- ・県中部エリアの復興を図るため、中部の春のイベントガイドと合わせたトリパスPRチラシを作成した：3万部

(2) 旅行会社対策

①「とっとりで待っとなります!!」意見交換会・現地視察会の実施

- ・目的：県外の旅行会社関係者を県内に招き、震災後の観光客受入に問題ないことの認識を深めていただき、今後の送客及び旅行商品の企画販売を働きかける。
- ・期日：平成28年12月21日(水)
- ・内容：県内観光関係者との意見交換会(三朝温泉 三朝館)
現地視察会(三朝温泉街、倉吉市白壁土蔵群)
- ・参加人員：県外旅行会社関係者：78名(関西47名、広島20名、岡山四国11名)
県内関係者：63名(運営含む)

②旅行会社の県内での現地研修に参加し、商品化や送客の働きかけを実施

- ・JTB西日本・関西・中国四国の社員研修に協力、参加(1月)
- ・その他、日本旅行会議に参加(12月)

③旅行会社説明会や旅行会社団体の大会参加、店舗でのPR実施等

- ・首都圏説明会(山陰インバウンド機構主催)に参加(3月、東京都)
- ・全国旅行業協会全国大会にPR参加(3月、金沢市)
- ・JTBなんば店、日本旅行Tis大阪店等でPR等

(3) もっとウェルカニ・松葉がに購入手配

- ・9月から実施中の「蟹取県ウェルカニキャンペーン」を利用して、11月、12月については、当選者を100名ずつ追加し、計200名に「松葉がに」をプレゼントした。

(4) 「とっとりで待っとなります!!」チラシ・ポスター等の作成

震災直後に、「鳥取は元気です!」「鳥取で待っとなります!!」をアピールする各種の宣伝ツールを作成。

- ・A4版チラシ11万部
- ・B2版ポスター800部
- ・宿泊者によるSNS発信を促すチラシ1万5千部

(5) 観光ガイドマップ等増刷

鳥取県中部地震の被害からの回復を図るため、春の本格的な旅行シーズンに向けて、観光宣伝ツールを整備した。

- ・鳥取県観光ガイドマップの作成 12万部
- ・PR用トリピー袋の作成 10万部
- ・開運八社巡りパンフ 3万部

(6) その他、国要望や各種媒体への情報発信など、風評対策の取組を行った

- ・地震対策として、内閣総理大臣をはじめ国への要望活動に参加した
- ・山陽方面、大阪市内のマスコミに対し、風評払拭、誘客宣伝をPRするキャラバン隊に参加。
- ・県外の鳥取県PRイベントに参加
- ・新聞の掲載枠を利用して、風評払拭や誘客宣伝を実施。(サンケイスポーツ等)
- ・PRイベント等で使用する必要資材、ノベルティを調達

(4) とっとり年は鳥取へ誘客事業	決算額 3,537,451円(0千円)
-------------------	---------------------

- ・実施目的：2月9日からの大雪により生じた宿泊キャンセルなどの観光被害を軽減し、春に向けた誘客活動を促進するため、「とっとり年の春は鳥取へ」をキーワードに、誘客キャンペーンを行う。
- ・実施期間：平成29年2月27日～平成29年3月31日
- ・実施内容

(1) 誘客キャンペーンの実施

① 県外でのPRイベントの実施

ア JR大阪駅でのイベント実施

期日：平成29年3月11日（土）

場所：JR大阪駅・アトリウム広場

内容：ステージイベント、キャラクターPR等

イ 中国道・加西サービスエリア（下り線）でのイベント実施

期日：平成29年3月11日（土）

場所：中国道・加西サービスエリア（下り線）店舗前広場

内容：パンフレットセット配布、キャラクターPR等

ウ 観光パンフレット配布によるPR（大阪市内のイベント）

- ・テレビ大阪・JR大阪駅イベントで鳥取県パンフレットを配架（3月4、5日）
- ・つるみエンジョイマラソンで鳥取県パンフレットを配布（3月5日）

② メディアキャラバン

関西地区の新聞社へのPRキャラバン

- ・本県の春の話題提供として、とっとり観光親善大使のほか、砂の美術館、とっとり花回廊関係者が参加し、「とっとり年の春」をPR

期日：3月24日（金）

訪問先：読売、朝日、毎日、産経、大阪日日新聞の各新聞社

(2) その他、各種媒体への観光情報発信等の取り組み等

① 新聞で「とっとり年の春は鳥取へ」の広告出稿を実施。

ア 読売新聞大阪本社版朝刊

掲載日：3月26日（日）

発行：関西、中国、四国地方 約2,200千部

規格：全5段 モノクロ

イ 週刊大阪日日新聞

掲載日：3月25日（土）

発行：大阪市北東部 約180千部

規格：半5段 カラー

ウ フリーマガジン「プリティライフ」（PRリーフレットの折込配布）

実施日：3月27日（月）

配布：大阪市北区の企業向 8000部配布

内容：観光パスポート「トリパス」と県中部の春イベントのPRリーフレットを配布

(5) とっとり観光親善大使活動事業	決算額 701,824円(1,400千円)
---------------------------	------------------------------

県内外の各種PRイベントや旅行会社等訪問の際に鳥取県の顔として観光PRを行う「とっとり観光親善大使」を各種イベント等に派遣し、本県の観光のアピールに努めた。

- ・委嘱期間：平成26年8月8日～平成29年10月31日
- ・委嘱人数：3人（会社員2名、主婦1名）
- ・派遣回数：36回

4 情報発信・宣伝事業

(1) 観光情報発信事業	決算額 9,677,584円(20,249千円)
---------------------	---------------------------------

- ・観光ガイドマップの内容を更新（作成部数：10万部）
- ・「平成28年度鳥取県観光素材集・食事編」作成（3,000部）
- ・「平成29年度鳥取県観光素材集」の作成（5,000部）
- ・ホームページ「旅の生情報」における画像コンテンツの充実と、フェイスブックやツイッターへの接続を容易にするよう使い勝手の向上を図った。
- ・「とっとり観光ニュース」を発行した（毎月）。（配布先 約1,700カ所）

(2) 連盟推薦みやげ品PR事業	決算額 106,327円(200千円)
-------------------------	----------------------------

本県の観光土産品の内容・評価を高めるため、推薦観光土産品の指定を行った。

- ・審査会：平成28年10月25日（火）
- ・審査員：鳥取県観光みやげ品協議会長 河越行夫氏 ほか8名
- ・場所：エキパル倉吉
- ・指定品目：9品目、21点（認定期間は2年間）

(3) フィルムコミッション事業	決算額 1,050,545円(5,500千円)
-------------------------	--------------------------------

「鳥取県フィルムコミッション」の専任職員1名を配置し（平成26年4月より）、映画、テレビドラマ、テレビ番組、CM、プロモーションビデオ、広告写真などのロケーション撮影が円滑に行われるよう、支援業務や誘致活動を行った。

- ・ロケ候補地の情報収集と情報提供
- ・撮影ボランティアエキストラなどの募集、手配の協力
- ・国、県、市町村、警察など公的機関への必要な許可申請手続きの案内、協力
- ・宿泊施設、飲食店、弁当、各種資器材業者、ロケバス車両等の紹介
- ・ロケハン、ロケーション撮影の同行
- ・ホームページの開設運営、SNSによる支援作品の情報発信
- ・全国ロケ地フェアへの参加、ジャパンFCへの加入等を通じたロケーション撮影の誘致
- ・支援作品を通じた、観光客誘致活動

[ロケ支援等の状況]

区 分	平成28年度	平成27年度	平成26年度
問い合わせ件数	112件	111件	61件
放送、公開、 出版された実績	61件	58件	36件

5 収益事業

観光PRノベルティー作成事業 決算額 628,683円(1,500千円)

収益事業として、開運八社巡りの手ぬぐいと観光名刺の作成を行った。

- ・ 申年開運手ぬぐいの作成 3,000枚
- ・ 観光名刺の印刷 3,500枚

6 会員等との連携事業

会員との協働・連携事業 決算額 3,500,308円(3,000千円)

鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合、鳥取県観光施設連絡協議会等と協働で誘客対策事業を実施した。

鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合活性化委員会への助成

ア 首都圏旅行会社との意見交換会

実施期間：平成28年5月17日(火)

開催場所：東京

意見交換会参加者：旅行会社10社17名 地元関係者13名

イ 首都圏旅行会社との意見交換会

実施期間：平成28年10月5日

参加者：旅行会社10社17名 地元関係者17名

ウ 旅行会社招致現地研修

〈中京圏・中四国圏〉実施期間：平成28年 9月28日～29日

参加者：旅行会社 5社18名

〈関西圏〉

実施期間：平成28年10月12日～13日

参加者：旅行会社 5社14名

7 会 議

連盟の総会、理事会及び監査を、次のとおり実施した。

(1) 総 会

① 通常総会

- 開催日 平成28年5月30日（月）
場 所 倉吉シティホテル
議 事 ア 平成27年度事業報告について
イ 平成27年度収支決算報告について
ウ 役員を選任について

② 臨時総会

- 開催日 平成29年3月27日（月）
場 所 ホテルセントパレス倉吉
議 事 ア 平成28年度補正予算について
イ 平成29年度事業計画について
ウ 平成29年度収支予算について
エ 役員を選任について
オ 定款の変更について
カ 役員報酬等に関する規程の改正について

(2) 理事会

① 第1回

- 開催日 平成28年5月13日（金）
場 所 倉吉シティホテル
議 題 ア 平成27年度事業報告について
イ 平成27年度収支決算報告について
ウ 平成28年度観光事業功労者及び観光事業優良従業員の表彰について
エ 会員の入・退会について
オ 通常総会の招集について
協議事項
役員を選任について

② 第2回

開催日 平成28年8月30日(火)

場 所 ホテルセントパレス倉吉

議 事 ア 役員の選任について

イ 会員の入・退会について

協議事項

定款及び諸規程の改正(案)について

③ 第3回

開催日 平成28年12月12日(月)

場 所 倉吉シティホテル

議 事 ア 組織規程の改正について

イ 事務処理規程の改正について

ウ 会計規程の改正について

エ 就業規程の改正について

オ 有期職員就業規則の制定について

カ 育児休業、介護休業等に関する規程の改正について

キ 職員給与規程の改正について

ク 職員退職手当規程の改正について

ケ 旅費規程の改正について

コ 推薦観光みやげ品規程の改正について

サ 観光事業功労者及び優良従業員表彰規程の改正について

シ 会員の入・退会について

協議事項

ア 鳥取県中部地震風評被害対策について

イ 定款の変更について

ウ 役員の報酬等に関する規程の改正について

④ 第4回

開催日 平成29年3月9日(木)

場 所 倉吉シティホテル

議 事 ア 平成28年度補正予算について
イ 平成29年度事業計画について
ウ 平成29年度収支予算について
エ 会員の入会等について
オ 事務所の移転について
カ 臨時総会の招集について

協議事項

役員を選任について

(3) 監 査

実施日 平成28年5月9日・10日

場 所 北栄町、倉吉市、鳥取市(連盟事務局内)

事 項 平成27年度事業実施状況及び決算状況